

白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク



見守り支え合い

お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します

介護ワンポイントアドバイス
地域包括支援センター Tel.86-0112

認知症と行動・心理症状

認知症の症状は、大きく「中核症状」と「行動・心理症状」の2つにわけられるといわれています。

今回は「行動・心理症状」についてご説明します。

「行動・心理症状」とは

前回説明しました「中核症状」に、ご本人の性格や、周囲との人間関係・生活環境、受けている介護などが影響して日常生活において行動や態度にあらわれる症状のことです。

例①自信を失ってしまふ。面倒になっていくことが増える。

▼周囲が気づく前、ご本人は何となく自分の変化に気づいていきます。今まで上手くできていたことができなくなり、次第に自信を失い、意欲がなくなつたようにみえます。

例②身のまわりのことが上手にできなくなる。

▼認知症が進むと、食事、入浴、着替え、排泄などがうまくできなくなることがあります。なかでも排泄の失敗はプライドが傷つきます。

そこで「行動・心理症状」に大切なのは、症状の理解と接し方です。

◎症状への理解

財布や通帳などの置き場所が分からなくなり、身近な人に盗まれたと思ひ込む場合も少なくありません。これは、記憶障害という中核症状にその人の性格や家族に迷惑をかけているという気持ちが影響しておこる症状です。一緒に探し、なくしものが出てくればそれでおさまりますから、周囲の人は深刻にならず、疑われた人のサポートを心がけましょう。

◎接し方の工夫

「行動・心理症状」は、本人にとつてそうせずにはいられなかつたり、本人がそうしたほうがよいと思つた結果あらわれるものです。その行動には必ず原因があります。

例) トイレの失敗

- ・トイレの場所がわからず失敗する。
- ・ドアを開けて明かりをつけておくなどトイレの場所を分かりやすくする。
- ・衣服を脱ぐのに手間がかかり失敗する。
- ・着なれた服を用意する。
- ・尿意や便意を感じにくくなり失敗する。
- ・排泄のリズムを把握して、早めに声をかけたり前もつてトイレに案内する。

どうしてそうするのか、理由を考えながら接し方を工夫すれば、症状をやわらげたり、あらわれないようにすることができます。

■問い合わせ

地域包括支援センター
86-0112

**ボランティア
ありがとうございました**

8月26日、長井白鷹建設組合（飯澤義一組合長）による学校修繕のボランティア活動が行われました。

飼育小屋の修理、物置サッシパネルの交換、じょうろ掛け、移植へら掛け、本棚の棚板製作、グラウンド砂場の木枠交換、木柵の防腐剤塗布など、町内の五つの小、中学校で作業が行われました。同組合は大工さんなど25職種、360人で構成されており、それぞれの技術を活かし、子供たちが安心して学校で学べるよう、学校修繕のボランティアを実施しており、今年で16年目となりました。



広告

住まいのリフォーム・新築は
地元職人に



全国建設労働組合連合会
山形県建設労働組合連合会

組合員数
360名

**建設工事に従事する新組合員募集中！
一人親方労災保険に加入できます！**

山形県建設国民健康保険組合
労働保険事務組合

長井白鷹建設組合

〒993-0051 長井市幸町7番14号
TEL (0238) 88-5424
FAX (0238) 87-4113

新築、リフォームをサポートする**助成金**のご相談は組合員までお気軽にどうぞ！！